

当院における足関節捻挫 の治療方針



**KUMAZAWA
ORTHOPAEDICS
CLINIC**

くまざわ整形外科クリニック

当院に、足首を捻った選手が来院したら

問診・触診



レントゲン検査



エコー検査



固定



なぜ足関節捻挫に エコー検査が必要なの？

- レントゲン検査 → 骨
 - **エコー検査** → **靭帯**、筋、腱、脂肪体などの軟部
- } 役割が違います

特に、スポーツ選手、学生は、
「大会に間に合いますか？」
「いつから練習できますか？」 と、復帰時期が気になります。

そこで、エコー検査が威力を発揮します。
どこの靭帯がどの程度損傷しているのかを明確にし、
適切な固定方法・固定期間を示すことができます。
それにより**復帰時期の目安**を提示することができます。



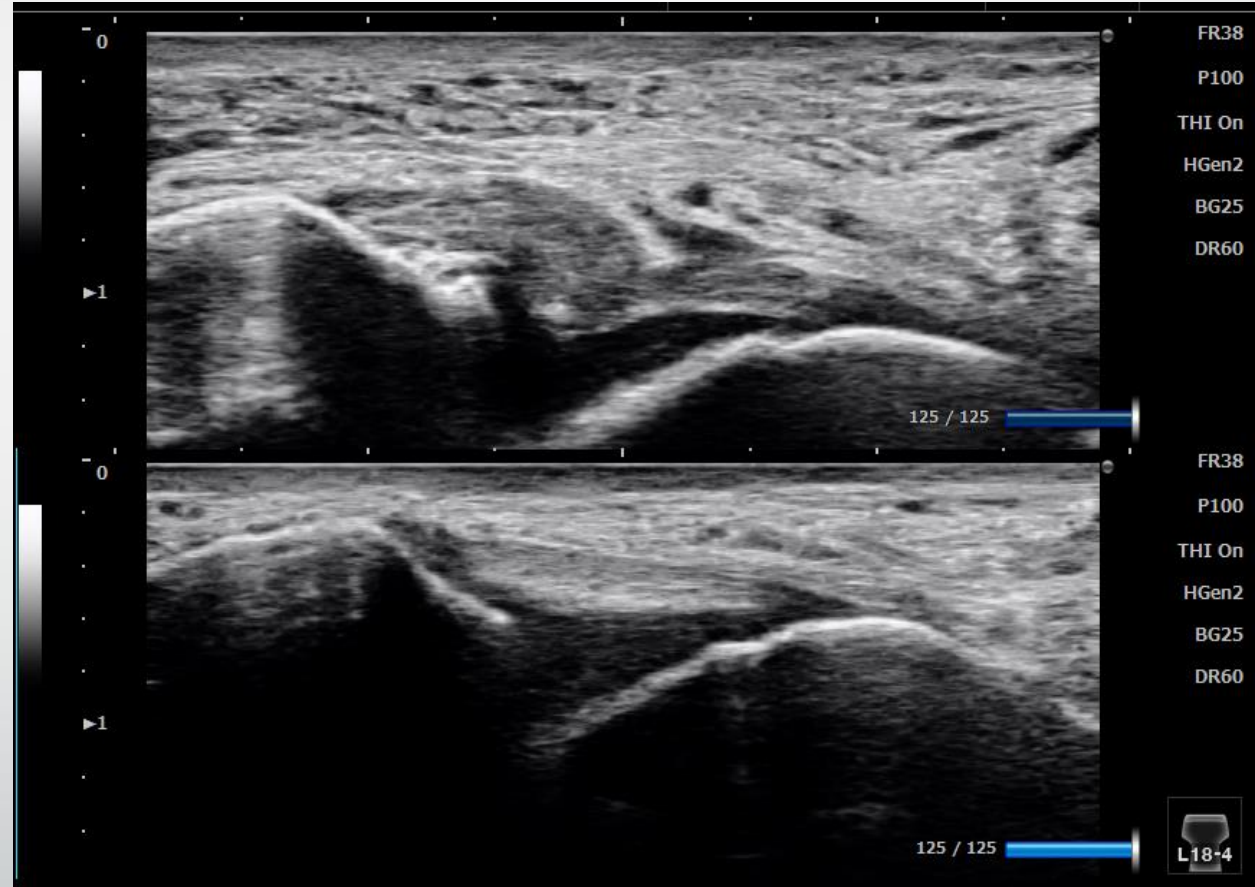
エコー画像①

エコー検査で、
靭帯損傷の

- ・ **箇所**
(どの靭帯を損傷しているのか)
- ・ **程度**
(靭帯の緩みの有無)

を、判断します。

高校生（サッカー）：前距腓靭帯損傷



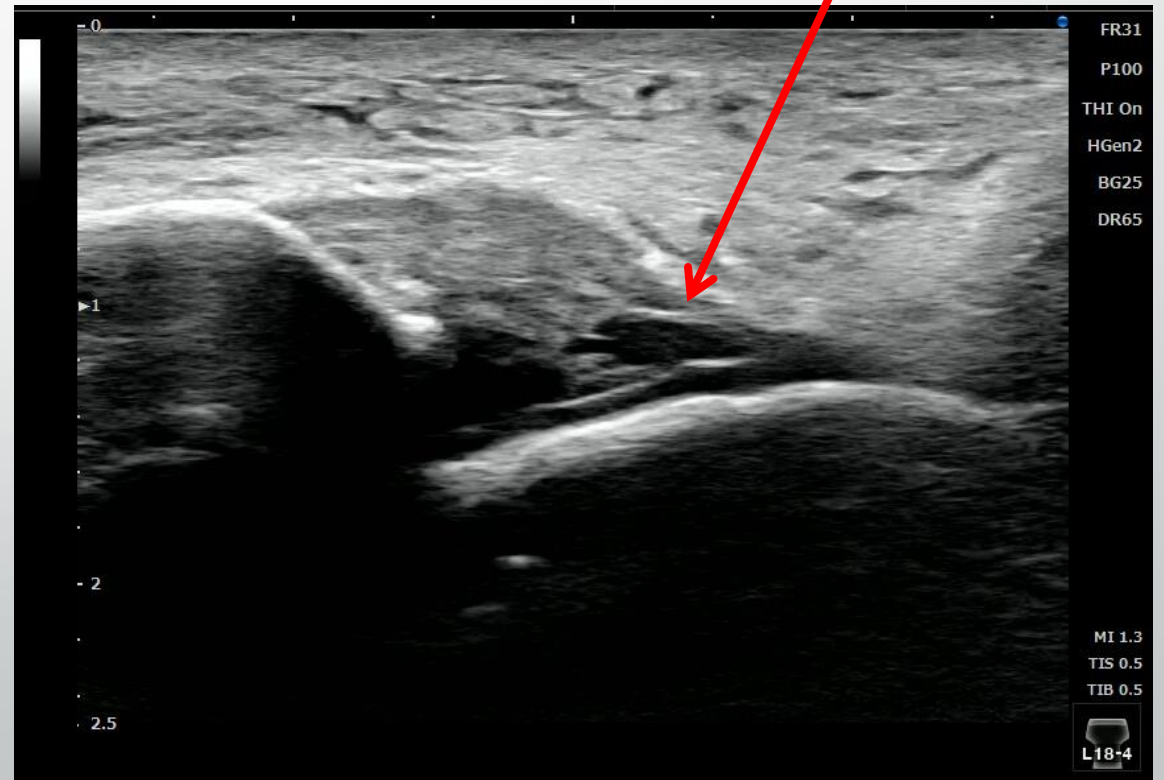
エコー画像②

エコー検査は、
動かしながらの撮影が可能です。

そのため、
靭帯にストレスをかけながらの
撮影を行うことで、靭帯損傷の
程度を確認することができます。



ストレスをかける



断裂部が開きます



エコーガイド下注射

- 足関節捻挫後、十分な固定期間・リハビリを経ても、足関節の痛みがなかなか取れないことがあります（＝遺残性疼痛）

当院では、リハビリで身体機能が改善しているが、**痛みが残っていてプレーができない、パフォーマンスが上がらない、**選手に対して、エコーガイド下注射を併用しております。

注射を併用することで、スポーツ復帰のアシストをしております。



最後に

- 当院では、足関節捻挫の画像診断に積極的に**エコー検査**を行っております。
- **エコー検査**で靭帯損傷の部位・程度を明確にし、
「必要な固定をしないことで、ずっと痛い・腫れている...」
「必要以上に固定することで硬くなる...」
を、無くすことがスポーツ選手にとっても重要です。

足関節捻挫で、お困りの際はお気軽にご相談ください。